

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 別府発達医療センター 児童発達支援センターひばり園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月18日		～ 令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42人	(回答者数) 40人
○従業者評価実施期間	令和8年1月25日		～ 令和8年1月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者通園であるため、子育ての悩みやお子さんの困りを早期に捉え対応することが出来ます。肯定的な注目(褒める)対応が増えることで自信を育み良い親子の循環ができたり、虐待防止や二次障がい予防に繋がります。	・出来るだけ早期に面談の場が設定できるように、面談希望表を掲示しており、自己発信が容易にできる環境面の工夫をおこなっています。	・日頃登園して来ている保護者以外のご家族の方も相談しやすい日時の設定や機会を今後は設けていきたいと考えています。
2	・当園の保育士以外にも、法人内には様々な職種専門スタッフがいます。他職種と連携を図りながら、多方面からお子さんの行動や言動の理由に仮説を立てて、オーダーメイドの適切な支援に繋げることが出来ています。	・当園の保育士および法人の多職種スタッフが保護者講座で講師となって専門的に話し、お子さんへの理解を深めていただけるように家族支援をおこなっています。	・日頃、一緒に通園することが難しい家族への講座を年間行事の中に設定していきたいと考えています。
3	・保護者通園であるため、通園時に他の保護者と情報交換がおこなえますし、OBの保護者の方がボランティアに来てくださる事があるので、小学校の状況を教えてもらえることが出来ます。子育てや進路に関する悩み等を同じ立場の保護者同士で共感し合えるためピアカウンセリング的な効果が得られ、保護者の心理面の安定につながります。	・今後の進路については、特に保護者の方が悩まれるため、地域資源についての情報提供は大切だと考えています。お子さんに適した環境で充実した集団参加が出来るように地域の関係機関とも連携しておこなっています。	・今後もOB講座を複数回実施し、様々な選択肢があることを情報提供していただけるように取り組んだり、ボランティアさんを通じて話しやすい雰囲気の中で質問出来る環境設定をしたりして、移行支援が適切におこなっていけるように工夫していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者通園が原則であるため、両親が就労している場合は利用が困難となるケースがあります。	・定期的な登園が難しいご家庭に対しては、当園の保育士がおこなっている外来保育をご利用いただき、お子さんの発達支援および家族支援に取り組んでいます。	・サービス提供時間の枠を検討し直したり、多様な家庭状況に合わせた利用の選択ができるように改善に取り組んでまいります。また、契約曜日に登園できない時は、希望に応じて、別日の振替え登園が出来るように柔軟に対応していただけるように、今後もニーズに応じられるように工夫をしていきます。
2			
3			